



「危機」に備える

校長 石山 秀樹

5月22日(水)、今年度第2回目の避難訓練が実施されました。今回の訓練は「不審者対策」として、日頃、本校の警備を担当していただいているセコム株式会社と、在英国日本国大使館の御協力をいただいております。

訓練は、「武器を持った不審者が塀を乗り越え、校舎内に侵入した」ことを想定しました。児童生徒には訓練が行われることは知らされ、非常放送が入った際の動き等は事前に確認されましたが、具体的に学校のどこに不審者が現れるかは知らされていない状態で実施しました。実際にはこの日、不審者役は中学部の教室に押し入ろうとして居合わせた教師に押し戻され、校舎外に出された後、「アトム班(緊急時対応職員)」によって校地外へ誘導され、訓練は終了しました。(「ロンドン日本人学校公式ブログ」5/22 付けもご覧ください。)この後、体育館に集まった児童生徒に対し、セコムの社長の竹澤様から、児童の代表らが不審者に遭遇した状況で大声を上げる練習をはじめとした実践的なお話をいただきました。

さて、私はロンドン日本人学校のような海外に立地する学校(在外教育施設と言います)の使命は、第一に日本国外での日本の教育の実施と質の確保、第二にそれらの実施にあたっての危機管理の二つに要約されると考えています。危機管理とは、危機が発生した際に被害を最小限に抑え、いち早く危機状態を脱することができるよう備えることです。ロンドン日本人学校では、危機として扱う「非常事態」として、「暴動」「テロ行為」「侵入者」「天候不良による災害」「火災・地震等の災害」の5つを挙げています。これらの非常事態が発生した際に、児童生徒及び教職員の生命と安全を確保し、学校財産の保全を図ることが本校の危

機管理です。実際に暴動やテロの過去の事例として、登校時間に学校北側の“Noel Road”高架橋下に爆弾が仕掛けられ学校周辺の道路が封鎖された事例、“Ealing Broadway”で深夜に爆発や暴動が発生した事例がありました。学校では、これら5つの非常事態の状況に応じて、緊急一斉メールでの連絡、保護者への一斉の引き渡し下校や校舎内外での避難といった対応をとる態勢であります。

危機管理において、最も弱点となりやすく注意を払う必要があるのは「人の危機意識」です。誰でも事件・事故や災害など、人が不幸になる状況を考えるのは嫌なものです。しかし、「危機はいつか必ず起こるもの」という前提に立って備えておくことが、いざという時にその不幸を最小限にすることにつながります。今回の訓練では、実際に不審者役が押し入ろうとした教室以外では、ほとんどの児童生徒、教師が何が起きているか分からないまま、緊急放送を聞いた状況でした。それでも、その時に児童生徒、教師がどれだけの危機意識をもって迅速に対応できるかが問われていることです。「どうせ訓練だ」と思って甘い対応をしていけば、それが危機の際には本当の危険につながるのです。

今、もちろんロンドン日本人学校は平和で、楽しい学校生活が実現できる環境です。しかし、その平和を維持し続けるためには、不断の努力が必要です。学校では御家庭に対し、児童生徒の送迎、緊急一斉メールの登録、校内に入られる際にはIDカードを必ず携帯し守衛に示すことをお願いしております。これらは、以上のような学校の取組を踏まえたうえでのことですので、改めて御理解・御協力のほどをお願いいたします。

ロンドン日本人学校では引き続き、安全で安心な学習環境の実現と子どもたちに真に力をつける教育実践を進めてまいります。

優しさと力強さと～消防署見学～



Acton Fire Station(アクトン消防署)へ校外学習に行きました。社会科の「火事からくらしを守る」の学習の一環です。

中に入ると早速、脱いだままのような防火服が。事前にその理由を学習していた子どもたちでしたが、実際の様子を見て大興奮。「本当に、脱いだままみたい。」「すぐ出動できるように準備してる。」と目をきらきらさせていました。地下には Fire Fighter の皆さんの強靱な肉体を支えるジムスペースが。バーベルについている重りの 100Kg の表示に驚いたり、軽々と懸垂をする Fire Fighter の方のパワーに圧倒されたりしました。

そして、全員が消防車に乗せてもらった後、待ちに待った放水体験でした。天気が心配されていましたが、晴天となったこの日。子どもたちがまいた水と陽の光で、きれいな虹ができました。実際の火事の現場は、人の命がかかった壮絶な状況だと思いますが、Fire Fighter の方に、一人ひとり丁寧に、そして笑顔で優しく放水の仕方を教えていただきました。

仕事の内容だけでなく、Fire Fighter の皆さんの人柄にも触れることができた今回の見学。充実した学習ができたことや、快く見学を受け入れ温かく迎えてくださった Fire Fighter の皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、学んだことをこれからの学習にしっかりと生かしていきたいと思えます。

発見いっぱい！町たんけん



小学部 3 年生は、5 月 16 日(木)に社会科とロンドンタイム(総合的な学習の時間)の学習として「町たんけん」へ行

きました。各クラス 3 グループずつに分かれて調査活動をしました。今回は今までとコースを変えアクトン方面の調査でした。こちらには学校や警察、病院、スーパーもあり地区を紹介する地図を作る時に、地図記号の勉強をするのにも適してい

ると考えたからです。また様々な立場の人が一緒に生活するうえで、住みやすくするためにどのような工夫があるのかをたくさん見つけることができるとも考えました。

子どもたちは、「信号や交差点のところには、点字ブロックがあるよ。」「ハンブがいっぱいあるよ。」「〇〇君の家は、ここだって。」と色々な発見をしながら調査をしていました。

たくさん歩き、たくさん発見し、子どもたちは達成感に溢れた表情で帰ってきました。子どもたちが安全に、充実した「町たんけん」ができたのも、ヘルプの皆様のバックアップのおかげです。ご協力ありがとうございました。今後は、グループごとに絵地図をまとめ、ロンドンタイムの時間に発表します。

どきどきわくわく町探検



小学部 2 年生は、5 月 23 日(木)に、町探検に出かけました。好天に恵まれ、青空の下で実施することができました。

探検したところは、学校周辺、ウエストアクトン駅、ノエル公園の 3 か所です。子どもたちは、それぞれがリーダー、安全係、時計係、地図係の役割を担って活動しました。ヘルプの保護者の方に見守っていただき、グループで助け合って取り組むことができました。活動を終えた子どもたちからは、「道を歩いていたら、バラが咲いていて、とてもきれいだったよ。」「ウエストアクトン駅で、駅員さんにホームまで見学させてもらったよ。」「ノエル公園には遊具があって、みんなでたくさん遊んだよ。」などの感想が聞かれ、充実した活動であったことが伝わってきました。日常の通学路でもあり見慣れた場所でしたが、みんなでよく観察することで、新たな気付きや発見があったようです。

次の町探検では、イーリングコモン駅周辺を探検し、おやつを買ったり、ポストオフィスで切手を買って手紙を出したりします。どきどきわくわくの町探検で、町の魅力をたくさん味わうことでしょう。